夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたＮＰＯ法人４団体によって進められている事業です。

２０２４ 夏キャンプ

2024 年度の最初の行事「2024 夏キャンプ」が、青梅市のブリヂストン保養所奥多摩園にて、８月３～５日の２泊３日で行われました。高３から中１までの子どもたち 10 名、学生・OGOB スタッフは入れ替わりを含め 28 名、同じく社会人スタッフ・協力者８名が参加しました。

◆主な内容

8月3日（土）	盛岡、仙台、郡山駅にて集合／送迎、開会式、自己紹介／近況報告、レクリエーション、前夜祭／奥多摩園庭にて花火
8月4日（日）	勉強タイム、夏祭り企画、ワークショップ「テンセグリティ」
8月5日（月）	閉会式、スライドショー、寄せ書き／感謝カード作成タイム、奥多摩園の方々へ御礼、出発、上野駅にてお土産タイム、送迎／盛岡、仙台、郡山駅にて解散

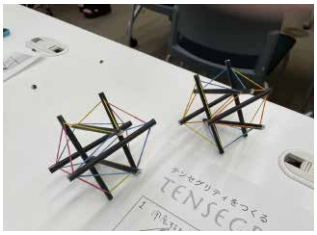
開会式で、急遽自分たちの近況報告をすることになりましたが、どの子もしっかりと、また嬉しそうに、笑顔で自分の様子を話すことができて、「もじもじしていたあの子が、びっくりするほどの成長を見せて、早くも涙腺が緩んだ」と報告してくれる OG もありました。

奥多摩園のお食事は、いつもとても工夫されていて、子どもたちも大人たちも大満足です。今回もお刺身や小鍋でいただくお肉やお野菜、小鉢等幾皿も並び、とてもおいしくいただきました。配膳のスタッフも細やかなサービスで恐縮するほどでした。

夕食後、奥多摩園の広いお庭のバーベキュー場で、夏祭りの前夜祭の花火をしました。実は、心配性の事務局子は、夏祭りを庭でやりたいという学生さんからの要望に、熱中症の危険性に加えて、以前に奥多摩あたりにもクマが出たことがあったことをとても心配していたので、室内での開催を提案しました。夕食後の外での活動も、もしクマに出くわしたらどうしようかと、頭の片隅で心配していたのですが、大勢で大騒ぎしてもうもうたる煙を上げる花火に、「これはいくら何でも杞憂だったな」と安心した次第です。

２日目は、夏祭り本番です。奥多摩園にご相談して、快く食堂１階を使用させていただくことができました。綿菓子器をレンタルし、奥多摩園からホットプレートを３台も貸していただいて、フランクフルト、焼きトウモロコシ、イカ焼き、焼きそばといったメニューを用意して、皆で調理しました。どれもとてもおいしく、また綿菓子も大好評でした。社会人スタッフが差し入れてくれたスイカも、よく冷えていて夏祭り気分を盛り上げてくれました。企画・手配を担当した学生さんに、皆が口々に感謝を述べて、本人は涙で感激していました。この企画は、奥多摩園の調理部の協力なしにはできませんでした。温かい心遣いをいただいたことを学生さんたちが体験できたこと、私たちの活動を心から応援してくださる方々に支えられていることを子どもたちに伝えることができて、本当に良かったと思っています。

夏祭り やきそば班



テンセグリティ作品作り

夕食後は、東京電機大学建築科の岩城和哉教授の指導による、ワークショップ「テンセグリティ作品作り」です。輪ゴムとストローの初歩的作品でしたが、美しくて、驚きのある構造を苦労しながら作り上げて、皆、満足そうでした。これまで、何度も大掛かりな作品を制作指導してくださっている岩城先生は、過去の写真なども見せてくださりながら、次は巨大なのを作ろうね、と楽しそうに解説してくださいました。

徐々に支援するこどもたちが卒業し、集まる顔ぶれが決まってきていますが、皆とても楽しみにして参加してくれています。現役学生スタッフが本年度は少なかったのですが OGOB たちの支援の下にとても意欲的に活動し、一体感が高まりました。

2024 夏キャンプ 帰路

今回は最後の送りで、新幹線に乗り遅れるというアクシデントが起こりましたが、これまでの経験知で何とか乗り切ることができました。今後もこの活動をさらに意義あるものにしていきたいと考えています。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

（夢のつばさ♥プロジェクト）

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行　大塚支店（店番号 227）普通 1284200
【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 柴 眞理子　※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。
※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。
ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせください。
連絡先：事務担当　滝澤公子　E-mail：tsubasa@npo-ochanomizu.org